

専門試験 - 資格免許職 - 診療放射線技師

〔No.1〕 心臓に関する次の記述 a～eのうちには正しいものが二つあるが、それらはどれか。

- a. 大動脈弁は三尖弁である。
- b. 肺動脈弁は肺動脈と左心室の間にある。
- c. 僧帽弁は左心房と左心室の間にある。
- d. 胎児循環における動脈管は肺動脈と大動脈弓を連絡する。
- e. 胎児循環における卵円孔は右心室と左心室を交通する。

- 1. a, b
- 2. a, e
- 3. b, c
- ④. c, d
- 5. d, e

〔No.2〕 放射線診療従事者等の線量限度に関する記述として正しいのはどれか。

1. 緊急放射線診療従事者等の実効線量限度は作業期間につき100ミリシーベルトで、女子はすべて従事できない。
- ② 妊娠中の女子の実効線量限度は本人の申し出認知時より出産までの期間、内部被ばくについて1ミリシーベルトである。
3. 妊娠中の女子の等価線量限度は本人の申し出認知時より出産までの期間、内部被ばくについて2ミリシーベルトである。
4. 緊急放射線診療従事者等の眼の水晶体の等価線量限度は500ミリシーベルトである。
5. 皮膚の等価線量限度は4月1日を始期とする1年間につき1シーベルトである。